

里の風愛治

令和4年3月31日発行

第98号

発行者 愛治公民館
鬼北町大字清水
1043番地1
電話 0895-46-0001

ここに注目！

- 公民館主催事業のあれこれ
- 笑顔の愛治人
“働き者の手から生まれる水引細工”

目次

雛人形～節句に寄せる思い～	1
楽しいパソコン講座	2
クリスマス会	2
しめ縄飾りづくり	2
あいじ寺子屋	3
もちつき大会	4
笑顔の愛治人Vol.4	4
ふるさと館整備委員会	5
愛治手しごとの会	5
木工教室「A GOOD DAY!一緒につくろう！木のベンチ」	5
新しい図書のご案内	6



雛人形
〜節句に寄せる思い〜

3月といえば、桃の節句「雛祭り」。愛治公民館にも地域の方からお借りした雛壇飾りを飾りました。

女の子のすこやかな成長と健康を願い、地域で女の子が生まれると多くの方がケース飾りの人形を贈られていました。床の間などに飾られたたくさんの雛人形を、ご近所さんが見に来られたり、と桃の節句はとても華やかで春の訪れを感じる行事です。

近年は、コンパクトで収納しやすい五人囃子までの3段飾りや内裏雛だけの親王飾りなどが人気ですが、このように七段飾りを手間をかけて飾ってみると、当時のご家族の、子や孫が生まれてうれしい気持ちや成長を願う気持ちの大きさを感じます。

贈られたお人形さまは、この成

長とともに、屋根裏や押し入れから降ろすこともなく、長らくそのお顔を見ていない、ということも良く聞く話です。それは「端午の節句」五月人形についても同じようです。

そこで愛治公民館では、4月中旬から5月5日にかけて、清水地区の各所に地域のみなさんからご寄付いただいた五月人形を展示する計画を立てています。5月5日といえば、こどもの日の祝日です。男の子の健康を願う節句の意味合いのほかにも、こどもたちがみんな元気に育ち、大きくなったこと、またその母に感謝する日という意味があるそうです。

公民館ロビーのほか、診療所、医師住宅、郵便局、JAなどで展示する予定ですので、ぜひご覧ください。

楽しいパソコン講座（入門編）

昨年度開催した「楽しいパソコン講座」が大変好評でしたので、今年は「パソコンってどんなことをする道具なの？」ということから学ぶ「入門編」を令和3年6月24日から計4回、開講しました。

講師の入船佳代子さん（三島）から、パソコンの電源の入れ方、電源が入ったらまずすること、など基本的なパソコン知識を学び、実際に文字を入力したり、イラストを入れたりして、



見やすくカラフルな「回覧文書」を作ることができるようになりました。



やさしい歌声に癒されたクリスマス会

令和3年12月17日、今年も愛治公民館にクリスマスがやってきました。

今年は地域のエンジェルたち？（笑）9人も応援にかけつけてくれ、大忙しのクリスマス会が始まりました。宝探しゲーム、クリスマス工作、カップケーキ飾りつけなどあれもこれも、と欲張ったせいでゆっくりお話をすることができませんでしたが、今年の見玉、温泉系シンガー浅井真耶さんによる「クリスマ

スコンサート」では、会場中が温かい空気になりました。赤鼻のトナカイ♪など小学校児童も一緒に歌ったり、童神という沖縄の歌では感動していました。



伝統のしめ縄飾りづくり

12月21日（火）、小学校で愛治小学校5・6年生7名を対象に伝統の「しめ縄飾り」づくりの教室を開きました。老人クラブの各会長さんや鷲見一男さん（畔屋）に教えていただきながら、立派なしめ縄飾りが完成しました。

6年生は慣れた手つきで、どんどん藁を竹に巻き付けていき、あっという間に完成させていました。早く作り終えた児童は縄の編み方を教えてもらったり、苦戦している5年生を手伝ったりしていました。

この日使った稲わらは、児童の皆さんが田植えし稲刈りしたもち米の

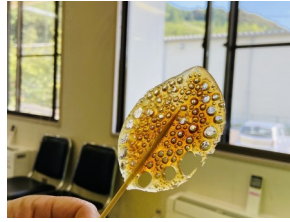
稲わらを使っています。刈り取った稲わらは天気のいい日に公民館近くのガードレールに干し、よく乾かした稲わらを教室の直前に足踏み脱穀機にかけ、袴とりをして準備したものを使っています。



あいじ寺子屋【夏】

令和3年度も新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、小学校でも地域でも息苦しさを感ずる生活が続いていました。そんな中、子どもたちの夏休みがやってきました。長期休暇中もそれまでやっていた“お楽しみ”が制限され、つまらない日々を送るのかもしれないな、と心配していましたが、今年は少し違いました。

子どもたちの居場所づくりとして「あいじ寺子屋」を始めまし



の児童が、計画的に進めていて、心配がないようでした。

そこで、何をしようか子どもたちに相談をすると、飴をとかしてつまようじを付け、べっこう飴のようにする“実験”やペットボトルで手作りした水鉄砲でチーム戦をする“遊び”をし始めました。いつの間にか、水鉄砲のキャップが外され、ただただ水をかぶり合う水遊びになり、そのうち、誰もがびしょ濡れの状態に。。

またある日は、夏の暑い日々を元気に過ごせるように、町の管理栄養士による「愛治っ子クッキング教室」で、ドライカ

レーと地元の野菜でスープとサラダを作りました。

8月の途中からまたしても感染症の影響で公民館が使えなくなり、計5回の開講しかできませんでしたが、子どもたちが自転車や徒歩でやって来ては「こんにちは！」と元気に声をかけてくれることが、とてもうれしかったです。



た。江戸時代なら学習塾のようなものですが、あいじ寺子屋は勉強を教えません。もちろん、夏休みの宿題もやりましたが、ほとんど

あいじ寺子屋【冬】

冬休みにも「あいじ寺子屋」を開講しました。

1日目には、冬休みの宿題に出た“俳句づくりと書初め”。古谷久代さん（清水）には俳句を、古谷玲子さん（清水）には書初めを、それぞれ習いました。

2日目は、巷で流行り始めている“モルック体験会”をしました。久万高原町で活動されている「山と森とモルック」さんに教えてもらいながら、白熱した試合を楽しみました。

3日目は、焚き火とパン作りをしました。火のおこし方を体験し、パンは粉の配合から自分たちで行いました。竹に巻き付け、上手に焼ければ美味しいパンになるのですが、火の加減が難しく、この日はなかなか苦戦

しました。

4日目は、愛治小学校の卒業生で海外にいる先輩とオンラインで（パソコンを使って）つながってみよう！という挑戦をしました。行ったことのない外国の町の様子に驚く子どもたちでした。この日、みんなに聞いた「将来、自分は何をしていると思う？」という質問に「鬼北町におる」と答えた子どもたちが多かったことに、少しの驚きとうれしさを感じました。



地域交流事業「もちつき大会」

令和3年11月27日（土）、愛治小学校児童とその保護者を対象にもちつき大会を行いました。各区長さん、母愛夢の皆さんに教えていただきながら、朝早くから30キロのもち米をつきました。

白色と紅色の丸餅のほか、サツマイモをもち米に入れ一緒についた“芋餅”や赤飯もつくりました。芋餅を初めて食べる人もいて、柔らかく伸びる芋餅は大人気でした。

保護者の皆さんは、美味しい赤飯の作り方を母愛夢の池田さとみさん（大宿）から教えてもらい、子ども



たちは区長さんたちから、杵の振り下ろし方を手取り足取り教えてもらっていました。

丸めた餅は、翌日に行われた愛治地区PTA研究集会でも配られ、地域の皆さんに喜んでいただきました。

なぜ、「大会」なのだろうと常々思っていました。全国的に、地域行事や学校行事で行うもちつきは「大会」といい、年代を超えて皆が腕まくりをして餅をついたり、丸めたりしているようです。



笑顔の愛治人 vol.4

今、愛治で熱いもの、といえば、「水引」。令和3年11月から公民館で教室を開いていますが、この講師をお願いしているのが、大宿の渡邊正光さん。写真や工作など趣味が多彩で、劇団の大道具・小道具を担当されていたという経歴をお持ちの渡邊さん。以前から水引作品を作られていましたが、その腕前はどんどん上達し、そのゴツゴツとした指先で生み出されているとは、とても信じられないほどの繊細で美しい作品ばかり。

もともとは不自由になった手先のリハビリのため始めたもの。今では、手芸品店や通信販売の手芸材料を駆使しながら花や動物や野菜など、何でも水引で作られます。

愛治小学校の卒業式で卒業生が胸につけるコサージュを、今年初めて制作されプレゼントされました。これ以外にも町内の保育所・小学校へストラップをプレゼントされており、町内の商店で買い物をしていると、水引ストラップをぶら下げたリュックを背負う子どもを見かけます。水引以外にも折り紙も得意で、今は4月中旬から展示が始まる「端午の節句まつり五月人形展示」を彩る“花”を色とりどりの折り紙で追ってくださっています。とても楽しみです。



◆◇◆ふるさと館整備委員会 活動報告◆◇◆

今年3月に近永小学校3年生と泉小学校3・4年生がそれぞれ見学のため、ふるさと館へやってきました。整備委員会の委員による説明を聞いたり、自分の気に入った展示物をスケッチしたり、思い思いに学習をしていました。



また、令和3年8月に惜しまれつつ解散をした「愛治ちんどんクラブ」の歴史を知ることができる写真や楽譜、衣装や賞状など、当クラブから貴重な品々の寄付がありました

ので、ふるさと館でどのように展示をするか今後、検討されます。いつか復活させようと立ち上がる方がおられるかもしれませんので大切に保管していきます。

◆◇◆愛治手しごとの会「水引・折り紙」◆◇◆

「愛治手しごとの会」は、さまざまな「名人」からその“技”を教えてください講座です。その第1弾として「水引・折り紙」教室を令和3年11月から毎月第3金曜日に開催しました。1本の水引から

愛らしい花ができるまで、何度も何度も繰り返し練習をし、最終日にはこんなに素敵なバラの花ができるようになりました。1つとして同じものはなくオンリーワンの作品です。



◇◆木工教室「A GOOD DAY!一緒につくろう！木のベンチ」◆◇

愛治活性化集団来夢と協力し、愛媛県森林環境保全基金公募事業補助金を活用した木工教室を開催しました。これは私たちが生活の中で、当たり前になっている「山」の大切さを学び、「木」の良さを感じてもらおうと企画したものです。

日吉農林公社の山内さんを講師としてお招きし、町内産の木材を使い「木のベンチ」を制作しました。鋸をひき木を切り、金槌で釘を打ち、シンボルマークの「E~もりくん」の焼き印を押すときにはドキドキしながら、皆さん上手に仕上げていました。アクリル絵の具で制作者の名前も入れ、記念に残るベンチになりました。温かみのある木のベンチは、大変

好評で「来年も作りたい！」と声が上がっていました。

制作したベンチは町内各所に設置していますので、探してみてください。見かけましたらぜひ座ってみてくださいね。



新しい図書のご案内 愛治公民館で新たに購入した本をご紹介します

定期的に新しい本を購入しています。ご希望の図書がありましたら、愛治公民館までご連絡ください。



看守の流儀
加賀刑務所が舞台のミステリー



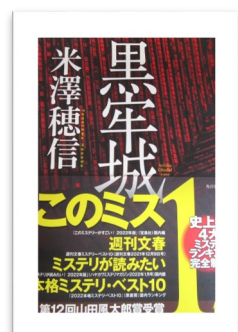
コロナと潜水服
愛と奇想のファンタジー短編集



九十九歳。戦いやまず 抱腹
絶倒のエッセイ



特許やぶりの女王 現役弁護士が描く企業ミステリー



黒牢城 本能寺の変から4年…。ミステリーの精髓と歴史小説の王道。



大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした 自己肯定感を高めてくれる1冊



えんとつ町のプペル 映画化もされたキングコングにしのあきひろ氏原作の絵本。



どのみちぺっ 飯尾流「ぺっこり45度」な人生の歩み方。



これ以外にもたくさんの新刊が入荷しています。最近作以外にも皆さんからの声を参考に“ちょっと気になる1冊”を置いています！読んでみてください。

編集後記



ホームページを更新しました。覗いてみてください。最新情報をお届けできるよう随時更新予定です。

子どものころから時期が来ると、朝早くから家の外で薪が燃える音や、もち米が蒸しあがる匂いがしてきて、「今日はもちつきか」とワクワクした気持ちになっていました。当時のもちつきといえど、電動の「餅つき機」の中でガタゴトガタゴト、と回している間に段々とまとまってくる、どこまでも伸びる餅になると、熱い餅を母が掴み取り「アチチ！」と言いながらもちとり粉を広げた台のうえに放り投げたのです。その餅を上手にちぎって、手のひらで丸く平たくしていき、パンジュウに並べていく、そんな年中行事を家庭で引き継いでいくことが難しく、私の代では小学校や公民館の行事に頼ってきました。

そんな懐かしさの中に新鮮さが交わる、公民館運営に関わることができました。心から感謝しております。これからも、人と人がつながる優しく強く楽しい地域であるよう地区住民として努力してまいります。2年間ありがとうございました！（善）